

故人の兄の山田一郎でございます。

本日はお忙しいなか、故山田次郎の葬儀にご会葬を賜り、誠にありがとうございます。

弟が病の床に就きましたときも、まさか私より先に逝ってしまうとは、想像すらしていませんでしたが、薬石効なく、五十歳という若さで、あつけなく、彼岸へと旅立ってしまった。しまいました。

故人も何より、あとに遺した家族を心配しているはずです。どうぞ皆様、遺された妻子をあたたくご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

それでは、故人の永久の眠りが安らかでありますよう祈りまして、供養の杯を献じたいと存じます。皆様、献杯のご唱和をお願いいたします。

「献杯」

どうもありがとうございました。